

平成 29 年 2 月 24 日

教員各位

博士後期課程大学院生各位

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 博士後期課程  
文部科学省科学技術・学術政策研究所 客員研究官

池 内 有 為

データリテラシーの国際調査へのご協力をお願い

近年、科学研究の成果として論文や、その根拠となるデータをインターネットで公開するオープンサイエンスの動きが国内外で盛んになっています。2016年5月のG7科学技術大臣会合ではオープンサイエンスが分野横断的な課題として位置づけられ、内閣府による第5期科学技術基本計画（2016～2020年度）では“国は、資金配分機関、大学等の研究機関、研究者と連携し、オープンサイエンスの推進体制を構築する”と述べられています。こうした潮流をふまえて、本学の中期計画においては、研究成果の発信を中心としたオープンサイエンスの推進が掲げられています。（中期計画 33 <KPI：平成 33 年度までに研究成果の統合的データベースを構築>）

特にデータの公開については、データの再利用によって研究を効率的に進めることや、異分野データを融合して産官学におけるイノベーションを創出することが期待されており、論文の投稿時にデータ公開を要求する学術雑誌も増加しています。一方、多くの分野ではデータ公開が一般的ではないため、本学におけるデータの管理や公開に関する実態を把握した上で中期計画を進めるとともに、適切な支援体制を構築する必要があると考えられます。

そこで、教員と博士後期課程大学院生の皆様を対象とした調査を実施致します。データ公開のご経験がない方のご回答も参考になりますので、ぜひ率直なご意見をお聞かせ下さい。なお、本調査は下記 **Data Literacy Research Team** を中心とした共同研究であり、結果の国際比較も可能です。調査は匿名で、ご回答は厳正に管理いたします。結果は、学内報告及び学術発表を予定しています。

お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

**【調査回答期間】**

平成 29 年 2 月 24 日（金）～3 月 17 日（金）

**【調査対象者】**

本学教員及び博士後期課程大学院生

**【アンケート URL】**

- ・ <http://survey.docinfos.fr/index.php/398889?lang=ja> [日本語]
  - ・ <http://survey.docinfos.fr/index.php/398889?lang=en> [English]
- (2017年3月17日まで)

**【アンケート概要】**

- ・ 質問は26問で、回答時間は約20分です。
- ・ 調査は匿名で、回答は統計的に処理します。
- ・ 調査は本学研究倫理審査の承認を受けています（2017年1月4日付，第28-121号）。
- ・ ご不明な点がある場合には，下記調査担当までお知らせ下さい。

**【調査担当】**

池内有為（筑波大学大学院博士後期課程） [oui@slis.tsukuba.ac.jp](mailto:oui@slis.tsukuba.ac.jp)

**【調査協力】**

逸村裕（筑波大学教授）  
原田隆史（同志社大学教授）  
佐藤翔（同志社大学助教）  
岡部晋典（同志社大学助教）  
筑波大学研究推進部  
筑波大学附属図書館

**【Data Literacy Research Team】**

Gobinda Chowdhury (Northumbria University, England)  
Serap Kurbanoglu (Hacettepe University, Turkey)  
Joumana Boustany (Paris Descartes University, France)  
Geoff Walton (Manchester Metropolitan University, England)  
Yurdagul Unal (Hacettepe University, Turkey)